

みしまのスポーツ

アナ： 「市長が語る 2016 三島」第3回の今日は、「みしまのスポーツ」についてお話を伺います。豊岡市長、よろしくお願いします。

市長： よろしく申し上げます。

アナ： みしまのスポーツということですが、具体的にはどのようなものでしょうか。

市長： まずスポーツというと、思い浮かぶのは開催が近づいてきたリオ オリンピックと、その次の開催となる2020年の東京オリンピックではないでしょうか。

アナ： はい、どちらの大会もとても楽しみにしています。

市長： それだけではありません。東京オリンピックの前年にはラグビーワールドカップ、翌年にはワールドマスターズゲームズという生涯スポーツの国際総合競技大会が日本で開催されるなど、毎年のように世界から注目を浴びるスポーツイベントが予定されています。

アナ： すごいですね、世界中から選手や観客が日本に押し寄せる様子が目に浮かびます。

市長： そうですね、日本全体としても『スポーツ立国』を目指して、スポーツを「する・みる・ささえる」人というものを重視しています。もちろん三島市でもスポーツに重点を置いていますので、この指針に沿った様々な取り組みを実施しています。

アナ： 例えば、どのような取り組みがあるのですか。

市長 「する・みる・ささえる」の「する」に関しては、市民の健康づくりはもちろんですが、今日ご紹介したいのは昨年11月に開講した「みしまジュニアスポーツアカデミー」についてです。これは市内の小中学生で基礎体力が一定以上の子どもを対象に、専門家によるトレーニングや競技体験を通じて、オリンピックなどの国際舞台で活躍できる可能性のある選手を発掘・育成するものです。

アナ それは楽しみですね。アカデミー受講生たちはどのような競技を体験するのでしょうか。

市長 競技種目は、近隣市町も含めて育成環境が整っている「自転車、ホッケー、ボート、レスリング、陸上」の5種目です。ちょうどこの4月から「競技体験プログラム」が始まっています。この体験を通して各受講生の競技適正を見極め、競技団体とマッチングし、その後は各競技団体が主催する本格的なトレーニングに移っていただきます。

アナ そして、何年か後にはオリンピック選手に・・・ということですね。ぜひ受講生の中から、世界の舞台で活躍できる選手が出てきてくれるといいですね。アカデミーの活動の様子はどこかで知ることができますか。

市長 はい、フェイスブックで活動の様子を配信していますので、そちらからご覧いただけます。

今年度も第2期生の募集を予定していますので、ぜひ応募していただきたいと思います。

アナ 私もこの後、早速拝見してみたいと思います。

市長： 「みる」という点については、東京オリンピックでの自転車競技の一部が伊豆市のペロドロームで開催されますので市民の皆さんにも是非見に行っていただきたいですね。昨年度は、バレーボールの男子アメリカ代表が三島市で事前合宿を行った際に、三島市スポーツ・文化コミッションの事業としてエキシビジョンマッチを開催し、市民の皆様にご覧いただきました。この試みが評価されまして、三島市はアメリカチームのホストタウンとして登録されました。

アナ： 今後もアメリカチームが来てくれると嬉しいですね。

それ以外にも、女子プロゴルフツアーが三島で開催されると伺っていますが。

市長： はい、今月末には女子プロゴルフのツアーであるサイバーエージェントレディースゴルフトーナメントが三島市のグランフィールズカントリークラブで開催されます。この三島の地でプロの技をご堪能いただける、またとない機会ですので、市民の皆様にはぜひ足を運んでいただきたいです。

アナ： 身近なところで最高レベルの試合を見る機会が沢山あって楽しみです。

では、「ささえる」については、どのような取り組みがあるのですか。

市長： 「ささえる」という点について、三島市は県東部の20の市町、県、企業、団体、個人からなる「静岡県東部地域スポーツ産業振興協議会（通称 E-Spo）」や先ほどお話ししました市独自の組織である「三島市スポーツ・文化コミッション」の事務局として総合的に地域のスポーツを支えているほか、スポーツボランティアやスポーツ推進委員、各小学校区体育振興会など「ささえる」人の育成にも力をいれています。

アナ： 三島市ではスポーツについて様々な活動を展開しているのですね。

これからも三島市がスポーツで輝くまちになることを期待しています。

豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長： ありがとうございました。